

2022年度 岡山ネットワーク (oni ビジョン) 番組審議会 議事録

■日時：2023年3月22日（水） 午前10時半～11時半

■場所：岡山ネットワーク会議室（岡山市北区新屋敷町 1-1-18）

■出席者

■番組審議会委員） 高山晃一委員、長門修二委員、西谷治朗委員、平田慎一委員
(5人中4人出席)

■oni ビジョン) 石井正人（代表取締役社長） 富長一郎（取締役）
平松千明（事業本部副本部長） 佐佐木真紀子（放送部課長）
江草貴善（放送部係長）

■対象番組：『oni ニュースプラス』『志呂神社の秋祭り』

■会議内容

冒頭、石井社長が「oni ビジョンは4月1日で開局30周年を迎える。これまで以上に地域の皆様に貢献するコミュニティーチャンネルにしていかなければと決意を新たにしている。そのためにも忌憚のない意見をいただきたい」とあいさつ。続いて佐佐木課長が意見交換の題材に選んだ番組の内容などを紹介し、質疑に入った。委員の意見は以下の通り。

・高山委員「『志呂神社の秋祭り』は、岡山市に住んでいるが、初めて知った。地域の伝統行事を伝えることは意味のあることだ。ただ、同じような映像が何度も使われていて尺が長いと感じたので、もう少しコンパクトに編集してはどうか。市内にはまだまだ知らない祭りがあると思うので、他の祭りも紹介してほしい。『oni ニュースプラス』は15分では短く感じたのでもう少し長くしてはどうか」

・長門委員「『志呂神社の秋祭り』は、見ていて行ってみたいという気持ちになった。（志呂神社のある岡山市北区）建部（町）だけではなく、岡山市内各地の祭りを取り上げて番組制作をしてほしい。『oni ニュースプラス』は市内の行事やイベントが取り上げられていてよい。尺が短く感じるので、ニュース1本当たりの尺を延ばしたり、話題を増やすなどして30分番組に拡大してはどうか」

・西谷委員「『志呂神社の秋祭り』は祭りを継承したいと活動する地区の人の情熱や熱い気持ち画面から伝わってきた。地域密着のコミュニティーメディアという oni ビジョンの役割を果たしている番組だ。神社の由来や神事としての位置づけなども明確にしており、民俗学的視点からも価値のある番組だと思う。『oni ニュースプラス』は、取り上げる題材が地域に密着していて良い。インタビュー内容を補足する文字スーパーがあれば分かりやすいと感じた」

・平田委員「『志呂神社の秋祭り』は、自分が住んでいる地域の祭りだが、地元の人も知らない話題も含まれていてよかった。ほっこり癒やされる番組だ。『oni ニュースプラス』はもっと臨

場感がほしい。現場の生の声を活かすなど工夫をしてみてはどうか。全般的に oni ビジョンの放送はポジティブで好感が持てる話題が多い。これほど人の心に響いてプラスな気持ちになれる放送番組は少ないので、これからもこの傾向は続けてほしい」

最後に oni ビジョンが準拠している日本ケーブルテレビ連盟の放送基準が 4 月 1 日から変更されるため、主な変更点を説明して閉会した。